



# キッズニアのフロア

## 水質汚だくの発生を防ぐために



日本の水道は、どこでも飲料水として問題なく利用することができます。きれいな水を守るために、地下水の汚染対策や、湖や沼など水の流れが少ないところの水質の調査が全国で行われています。

### 工場などから排出される水には、どのようなきまりがあるの？

水質汚だくを防ぐために、工場などから川、湖、沼、海などの公共用水域（みんなが利用する水の場所）に排出される水については、全国で排水基準がきめられています。また、都道府県によっては、より厳しい排水基準が設けられています。



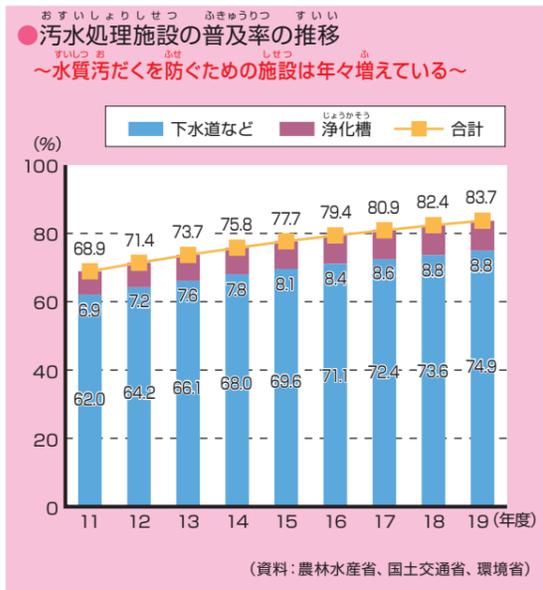
飲料メーカーの工場にある排水処理施設。排水を法律で定められた基準値を下回るように処理してから、河川や下水道に流します。

(写真提供:北海道コカ・コーラボトリング株式会社)



工場は水をたくさん使うから、特に厳しいきまりがあります。

工場の中で水を再利用して、少ない水で製品をつくる取り組みも進んでいます。



### キッズニアでは...

「ボトリング工場」パビリオンで、子どもたちは、工場スタッフとして、飲みものを作ります。実際に機械を操作して、ボトルを洗浄・乾燥したあと、シロップの分量を工夫し、炭酸を加えて完成です。できた飲みものは自分で飲むことができます。



キッズニア東京の「ボトリング工場」パビリオンのようす (写真提供:株式会社キッズシティージャパン)

### もっとくわしく!

平成21年版環境・循環型社会・生物多様性白書のP6、P132～P134、P150～P156を見てね。

### 湖や沼では、どのように水が守られているの？

湖や沼など水の流れが少ない自然の水域については、富栄養化（自然や人の影響によって、水中の肥料分が増えること）への対策として、水質汚だく防止法にもとづいて、窒素と“りん”について排水規制が実施されています。

日本でいちばん大きな湖、琵琶湖（滋賀県）では、富栄養化によってプランクトンが異常に増え、アオコや淡水赤潮が発生し、問題になりました。

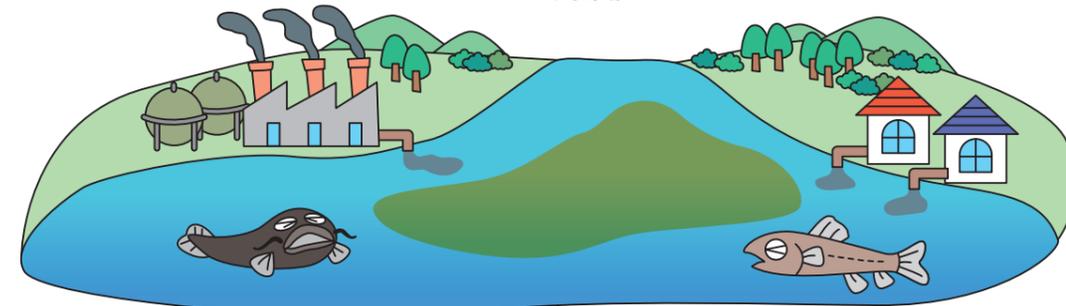
(写真提供:滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)



アオコ



淡水赤潮



### なるほど TOPICS

### 一般市民が参加する調査で、水環境に親しんでもらう

環境省では、関係機関の協力のもと、一般市民の参加を得て、全国水生生物調査（水生生物による水質調査）を実施。平成20年度の参加者は75,938人となりました。

また、平成20年6月8日を中心に、全国のおよそ6,200地点で約1,000の市民団体が協働して、身近な水環境の一斉調査を実施し、その結果をわかりやすく表示したマップを作成しました。みなさんも、地元の河川や湖沼を調べてみましょう。



栃木市で行われた水質調査のようす (写真提供:栃木市)